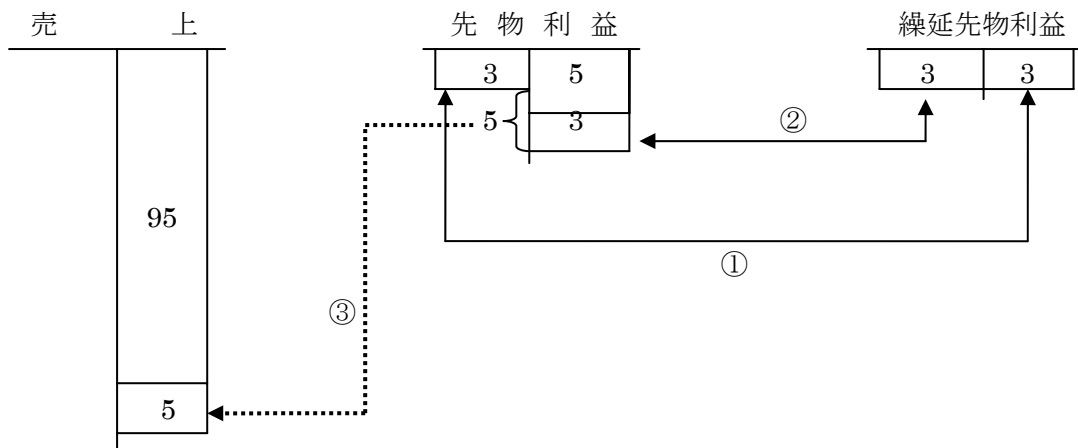


〔設例B〕 キャッシュ・フローを固定するためのヘッジの会計の解説

この設例の会計処理を勘定記入面（一部抽出）で示すと次のとおり。



- ①繰延ヘッジ会計を適用して、先物利益を繰り延べる処理（2003年3月末決算時）
- ②先物売契約を決済する時点で、繰延先物利益を先物利益に振り戻す。
- ③ヘッジ手段の先物取引に生じた利益をヘッジ対象である売上に追加する。



以上の会計処理の結果、この商品の売上によるキャッシュ・インフローは仕入原価 100 と等しくなり、100 の固定したキャッシュが得られることになる。